

「～間」「～間に」に前接する動詞についての一考察

家田章子

麗澤大学外国語学部

sieda@reitaku-u.ac.jp

1. 研究の目的

初中級の文法として扱われる「～間」「～間に」の使い分けについては、多くの日本語教科書や文法書で説明がされている。日本語教科書でこれらの表現が導入される際は、「～間」「～間に」に前接する動詞の形については、その記述に多少の違いがあるものの、「～ている」が示されていることが多い。このため、学習者の多くは「～ている」以外の形も現れうることに気づく機会はありませんが、現状のようである。数は少ないが、「～ている」以外の形が示され得る教材もあり、『ニューアプローチ中級基礎編 改定版 練習帳』では以下のような問題が出題され、web で公開されている解答に「～間」の前に「～ていた」という形が使われている。

(1) 私が病気で_____間、母がずっとそばに_____くれた。

【解答例】私が病気で入院していた間、母がずっとそばについていてくれた。

確かに、「入院している間」「入院していた間」という表現に違和感がないが、過去の表現なら「～ている間」と「～ていた間」のどちらも使用可能かを改めて考えると、(2)のように違和感が生じるものもある。

(2) 「小沢さんはしゃべっている間、ずっと藤井さんをにらみつけていた」

(朝日新聞 2010 年 1 月 6 日朝刊)

(2)' ? 「小沢さんはしゃべっていた間、ずっと藤井さんをにらみつけていた」

本研究では「～間」や「～間に」の文で、どのような場合に「V-た」を用いることができるのかを考察する。

2. 教科書や文法辞典等の記述

2.1 教科書の例文

各教科書において、「V+間」「V+間に」の例文として過去の出来事を述べているにどのようなものがあるかを概観する。

『初級日本語 げんきⅡ』坂野 他(1999)

(3) ルームメイトがコンピューターを使っている間、私は本を読んで待ちました。

(p. 186)

- (4) お風呂に入っている間に電話がありました。(p. 185)
- (5) ゆうべ、寝ている間に地震がありました。(p. 186)

『中級へ行こう』平井・三輪(2004)

- (6) 彼が出かけているあいだ、わたしはずっと手紙を書いていた。(p. 97)
- (7) 電車に乗っているあいだに、友だちからメールの返事が来た。(p. 98)

『ニューアプローチ中級基礎編 改定版 練習帳』小柳 他(2004)

- (8) 母が料理を作っている間、子どもはテレビを見ていました。(p. 42, web 解答例)
- (9) 私が買い物に行っている間に、郵便配達の人が来たようだ。(p. 43, web 解答例)

『初級日本語文法総まとめポイント 20』友松・和栗(2004)

- (10) 私は日本にいる間に結婚しました。(p. 61)

『くらべてわかる 初級日本語表現文型ドリル』岡本・氏原(2010)

- (11) A: Bさん、イタリア語できるの?
B: ううん、パスタ屋でバイトしているあいだにちょっと覚えてだけ。(p. 15)

2.2 文法辞典等での記述

文法辞典等では、「～間／間に」に前接する動詞がどのような形になるかも明記されている。以下に「～間／間に」の両方について扱っている文献について、動詞の接続の形と例文を挙げた。

『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』松岡(2000)

- ◆V(辞書形)＋あいだ／あいだに
- (12) 子供が寝ている間に洗濯をした。(p. 205)

『中級日本語文法と教え方のポイント』市川(2007)

- ◆V-る／V-ない／V-ている＋あいだ(は)／あいだに
- (13) 彼女が着替えているあいだ(は)、僕は外で待っていた。(p. 264)
- (14) 大学に通っているあいだ、ずっと京都に住んでいた。(p. 260)
- (15) 出かけているあいだに、空き巣に入られた。(p. 260)
- (16) 本を読んでいるあいだに、眠くなってしまった。(p. 261)

『A Dictionary of Basic Japanese Grammar』Makino and MTsutsui(1986)

- ◆V-ている＋間／間に
- (17) 私がご飯を食べている間山田さんはテレビを見ていた。(p. 68)
- (18) スミスさんは日本にいる間英語を教えていました。(p. 69)
- (19) 子供たちがテレビを見ている間私は本を読んでいました。(p. 69)
- (20) 私がご飯を食べている間に山田さんが来た。(p. 68)
- (21) 高橋さんはアメリカにいる間にゴルフを覚えました。(p. 69)

(22) 中川さんのお母さんは中川さんがパリに留学している間に病気になりました。

(p. 69)

『日本語文型辞典』グループ・ジャマシイ (1998)

◆V-ている/V-る+あいだ/あいだに

★過去のことについて言う場合は、「V-ていた/A-かった あいだ」の形も用いられる。

★過去のことを言う場合は「…たあいだに」の形も用いられる。

(23) 友子は大阪にいる間は元気だったが、東京に引っ越したとたんに体をこわしてしまった。

(24) 私たちがお茶の用意をする間、彼らは緊張して一言もしゃべらずに座っていた。

(25) 彼はドイツに留学していた間、スウェーデン人の女の子と一緒に生活してたらしい。(p. 2)

(26) リサが日本にいる間に一緒に旅行したかったのだが、残念ながらできなかった。

(27) 私がてんぶらを揚げる間に、母はおひたしと酢の物と味噌汁まで作ってしまった。(p. 3)

『どなたときどう使う日本語表現文型辞典』友松悦子 他(2007)

◆V (普通形) +間/間に

(28) 両親が旅行をしている間、ぼくが毎日食事を作りました。

(29) 私がいない間にだれか来たのでしょうか。門が少し開いています。(p. 22)

3. 「V-た間」「V-た間に」使用の条件

「～間/間に」に前接する動詞で「V-た」を使用できるのは、グループ・ジャマシイ (1998) で述べられているように、「過去のことについて言う場合」であるが、過去のことについて言う場合でも、「V-た」の形をとれない場合がある。

3.1 前節が現在と切り離されていない場合

2.1 でみた、(11) の例文は、(11) ' のように「バイトしていた」に変えても文法的にはおかしくないが、「現在はパスタ屋でバイトをしていない」場合にしか「V-た」を用いることはできない。

(11)' A : Bさん、イタリア語できるの？

B : ううん、パスタ屋でバイトしている/いたあいだにちょっと覚えてだけ。(p. 15)

3.2 動作主が一致し、同時に動作している場合

もう少し詳しく見ると、「前節が現在と切り離されて」いるだけでは「V-た」を用いにくいものがある。(30) や(31) がその例であるが、他の文にはなくこの 2 つの文に共通するのは、前節と後節の動作主が一致している場合で、その動作の時間が重なっている場合である。二つの動作の時間が重なっているため「～間」を「～間に」に変えることは不可能であり、同時進行を表す「～ながら」と言い換えが可能である。

- (30) 「小沢さんはしゃべっている間、ずっと藤井さんをにらみつけていた」
(朝日新聞 2010 年 1 月 10 日朝刊)
- (30)' 小沢さんはしゃべりながら、ずっと藤井さんをにらみつけていた。
- (31) 海やいくつもの戦跡を見ている間、ずっと千恵子さんを思っていました。
(朝日新聞 2010 年 6 月 23 日朝刊)
- (31)' 海やいくつもの戦跡を見ながら、ずっと千恵子さんを思っていました。

これらの文は、以下のように、「V-た」を用いると文法的に認められにくくなる。

- (30)'' ? 「小沢さんはしゃべっていた間、ずっと藤井さんをにらみつけていた」
(31)'' ? 海やいくつもの戦跡を見ていた間、ずっと千恵子さんを思っていました。

4. まとめと課題

「～間」「～間に」は、過去のことを述べる場合には前接する動詞が「V-た」の形をとることも可能である。ただし、以下のような場合には「V-た」の形をとらない。

- ①前節が現在と切り離されていない場合
- ②前節と後節の動作主が一致し、その動作時間が重なっている場合。

今後、検討すべき点として「ながら」と言い換えられる「～ている間」の文の前節と後節の関係がある。たとえば、(32)を「ながら」の文に言い換えると、「音楽を聞く」のが主な動作のような印象を与える可能性がある。

- (32) 彼は勉強している間、ずっと音楽を聞いていた。
(32)' 彼は勉強しながら、ずっと音楽を聞いていた。

しかし、実際は「勉強する」方が主な動作であり、「ずっと音楽を聞きながら勉強していた。」とする方が一般的のように思われる。「～間」を「～ながら」と単純に入れ替えただけでは、本来の文意とことなる解釈がされる点について、今後考察をしたい。

参考文献

- Makino, Seiichi and Michio Tsutsui (1986) *A Dictionary of Basic Japanese Grammar*. The Japan Times.
- 市川保子(2007)『中級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク
- 岡本牧子・氏原庸子(2010)『くらべてわかる 初級日本語表現文型ドリル』Jリサーチ出版
- 小柳昇 他(2004)『ニューアプローチ中級基礎編 改定版 練習帳』語文研究社
(練習帳の解答例 <http://nihongo-net.jp/>)
- グループ・ジャマシイ(編著)(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版
- 友松悦子・和栗雅子(2004)『初級日本語文法総まとめポイント 20』スリーエーネットワーク
- 友松悦子 他(2007)『どなたときどう使う日本語表現文型辞典』アルク
- 坂野永理 他(1999)『初級日本語 げんきⅡ』The Japan Times
- 平井悦子・三輪さち子(2004)『中級へ行こう』スリーエーネットワーク
- 松岡弘 監修(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク